

静岡県の平成 28 年シラス漁の漁況予測

予測 平成 28 年漁期水揚量*は **7,000トン(6月以降 3,500トン)**

経過

今漁期のシラス漁は、5月下旬まで好調に経過し、主要6港(用宗・吉田・御前崎・福田・舞阪・新居)の3~5月の累積水揚量は、昭和60年以降の31年間で7番目に高い**3,500トン**に達しました。

予測方法

- ・ 静岡県におけるシラスの3~5月の水揚量のパターンは4つに分類されます(下記参考)。
- ・ 今年のパターンは“春好調B”に分類されました。
- ・ 3~5月の累積水揚量と漁期水揚量の関係(図1)から、春好調Bとなる今漁期水揚量を7,000トン(6月以降3,500トン)と予測しました。

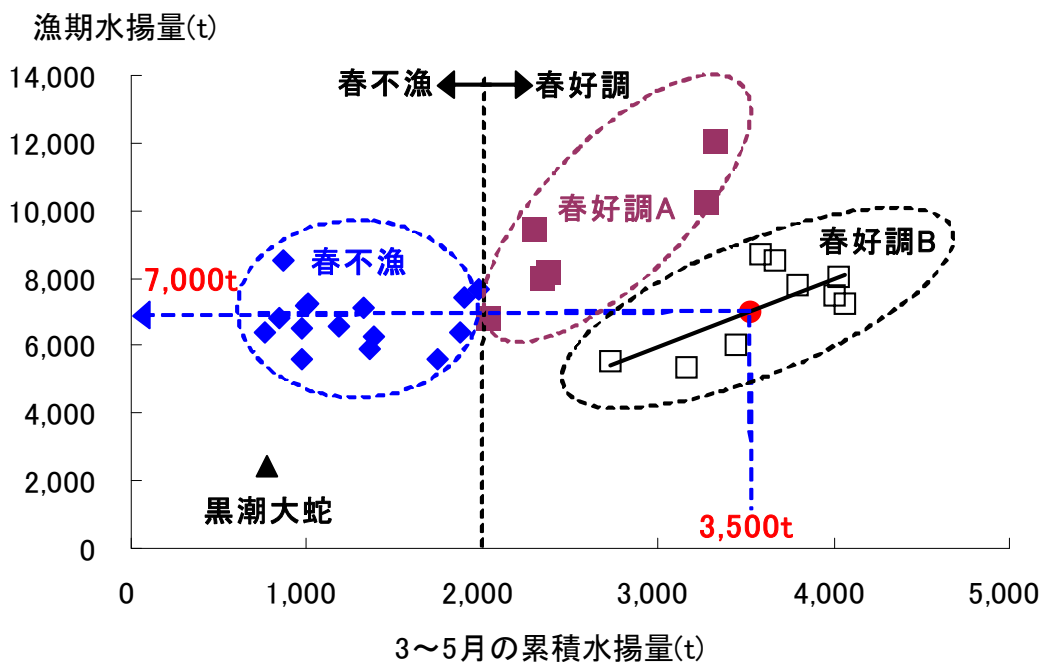


図1 3~5月の累積水揚量と漁期漁獲量の関係

(参考) 静岡県におけるシラスの3~5月の水揚量の4パターン

- 春好調 A : 3~5月の累積水揚量が2,000トン以上 (■)
- 春好調 B : 3~5月の累積水揚量が2,000トン以上で、5月下旬に向けて増加する傾向 (□)
- 春不漁 : 3~5月の累積水揚量が2,000トン未満 (◆)
- 黒潮大蛇行 : 黒潮大蛇行が発生した場合 (▲)

*漁期水揚量 : 3月~翌年1月の累積水揚量